

平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「開発創造・和衷敬愛・質実剛健」の建学の精神のもとに、「生徒の望む進路を実現する学校」をめざしていく。
 育てたい生徒像：(開発創造)自分で創意工夫でき、(和衷敬愛)おだやかで思いやりをもって人に接することができ、(質実剛健)自分を律し社会に貢献でき、
 (「開拓者精神」による実践)勇気を持って常に新しいことに取り組もうとする生徒を育てる。
 重点課題：生徒の志と夢をはぐくみ、学校力を高め、地域社会と連携する。

2 中期的目標

1. 生徒の学力を高め、進路を保障

(1)「学習における自律精神の育成」:

ア 規範意識を高め、挑戦する心の育成

※授業遅刻の減少、生徒指導の徹底、人権学習の推進

イ 学習意欲の向上と継続した学習の推進

※授業態度の向上をはかり、力のつく授業の実践

※進路指導計画の充実

※生徒学校教育自己診断「家庭学習時間 1 時間以上」H26 年度 42%を平成 27 年度に 50%に

※家庭学習を推進する取り組みを実施する。

(2)「生徒参加型の国際交流」:

ア 異文化を理解し、コミュニケーションの機会を増加させる

※自己表現能力の向上のため発表等の機会増加

※授業におけるグループ学習の推進

※体験学習の充実(修学旅行、福祉体験、交流学习等)

イ 国際交流を通して、グローバルな視点から生き方を学び、積極的な人生をめざす

※在校生の国際交流：韓国・ニュージーランド・台湾の高校への派遣及び、姉妹校の受け入れによる相互交流

※ニュージーランドへの長期留学制度の充実

※卒業生の国際交流：ニュージーランド・台湾の姉妹校に卒業生を日本語アシスタントとして派遣

※アシスタント教員の受入れ：ニュージーランド等の姉妹校から卒業生を語学のアシスタントとして受け入れる

※英語教育を積極的に推進し、また、第 2 外国語としての中国語・韓国語を推進する

※語学関連の資格試験の合格者数及び、スピーチ・コンテスト等への参加を促進する

※地域の国際関連施設と語学を通じた連携を図る

(3)「授業・コース制度の充実」:

ア 進路に沿った学力の育成

※コースに基づいたクラス編成の実施

※進路を獲得できる力を養う授業の実施

※進路獲得に向けた講習会の積極的な実施

※コース特性に応じた進路獲得アプローチ：各コースの特性を活かす

※更なるコース・カリキュラムの充実

※各コースの進路獲得者の増加 (国公立) 現役合格 H27 年 3 名、28 年 5 名
 (関関同立) H27 年 40 名、H28 年 50 名

イ 丁寧な進路指導

※「総合的な学習の時間」等を活用し 1 年からのキャリア教育の実施

※進路を踏まえて、卒業生との交流

※「進路について十分な相談ができる」: 26 年 65%を 27 年には 75%に

2. 生徒の活力を高め、充実した学校生活

(1)生徒会活動、部活動の活性化

ア 生徒会執行部の育成

※管理職との情報交換会、サポート体制の強化

※生徒学校教育自己診断における「生徒会活動が活発である」平成 26 年度 41%を平成 27 年度に 50%に

イ 部活動の更なる充実

※部活動参加率を平成 26 年度 65%を平成 27 年度に 70%に

(2)体験活動の重視

生徒の達成感の向上をはかり、自尊感情・自律心・共生の精神を育む

※体験活動の福祉体験授業(1 年家庭科)、修学旅行(2 年)でアンケート実施、平均達成度「よかった」を 70%以上に

※進路指導説明会や分野別説明会の充実

3. 教員の指導力を高め、良き教育環境作り

(1) 教員の生徒一人ひとりへの対応力の育成

ア 授業力の向上

※教材研究をしっかりと実施し、わかりやすい授業をめざす

<p>※各先生方の授業の見学会を実施する</p> <p>※授業アンケートの効果的な活用</p> <p>※スタディー・サポートの結果を分析し授業に活かす</p> <p>イ ICT を利用した授業、グループ学習、発表能力育成をめざす授業を心がける</p> <p>※学校教育評価アンケートで「わかる授業」：H26 年 38%を H27 年は 45%に</p> <p>※受験に対応した適切な授業：授業アンケートで「学校の授業・講習で進路志望達成に必要な学力がつく」H26 年度 51%を、H27 年度 60%に</p> <p>(2)教職員が相互理解を深め信頼関係を構築</p> <p>ア 生徒指導体制を充実</p> <p>イ 教員のニーズに応じた研修の実施</p> <p>※「教職員間の相互理解と信頼関係で教育活動を実施」：H25 年 36%を H26 年は 45%に、平成 28 年に 60%</p>
<p>4. 保護者・地域力を高め、連携の活性化</p> <p>(1)保護者・地域との連携を深める</p> <p>※「図書館運営」「学園の森維持」「国際交流支援」等の事業へ地域や保護者の参加を求める</p> <p>※地域連携行事の企画と参加</p> <p>※地域の小学校・中学校、及び近隣の大学校との連携を図る</p> <p>(2)学校情報の更なる発信</p> <p>※学校のウェブサイトの充実</p> <p>※メルマガの発行</p> <p>※学校説明会の充実と内容改善</p>

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 27 年 1 2 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>本年は大きく学校教育自己診断の結果が向上した。</p> <p>○生徒回答：30 項目中 29 項目でアップ、平均で 8 ポイント上昇</p> <p>○保護者回答：35 項目中 34 項目でアップ、平均で 16 ポイント上昇</p> <p>○教員回答：30 項目中 28 項目でアップ、平均で 11 ポイント上昇</p> <p>【学習指導】</p> <p>アンケート結果では、「わかりやすさ」「工夫がある」「学力がつく」「質問に対応してくれる」等、全ての項目で、生徒向け・保護者向けの評価が上がった。保護者評価はどれも 16～19%の伸び率であったが、生徒評価は、5%までの伸び率になった。今後更に、生徒たちの実感が持てる授業力向上をめざしたい。また、教員評価では、「学習指導に組織的に取り組んでいる」が 14%上がり、教員の協力体制への自覚も芽生えつつある。本年度、来年度入学者のカリキュラムを変更したが、調査では、現行の教育課程への評価が 38%となっており、変更を容認する形となっている。</p> <p>【生徒指導】</p> <p>・生徒指導室に教員を常駐し、積極的に遅刻指導をしたこともあり、遅刻数が昨年の年間 5144 件から半減し、問題行動事例も昨年 17 件から 4 件と激減している。学校教育自己診断でも、保護者評価で、「先生方が責任を持って仕事にあたっている」「生徒指導方針に共感できる」「先生方が協力して指導に当たっている」がそれぞれ 24%、20%、24%の増加となり、80%を超えている。生徒も同様に 10%ほどの伸びとなっている。</p> <p>・本年、教育相談の体制も改善し、SCや相談員と各学年との相談会を必要に応じて頻繁に行うようになったこともあり、「生徒の相談にのってくれる先生が多い」が保護者で 22%増、生徒で 8%増となった。また、教員評価で「教育相談体制が整備され、生徒は担任以外とも相談できる」が 44%増となり、組織として教育相談ができています。</p> <p>・進路指導も、総合的な学習の時間の活用が進み、充実した年間計画が立てられるようになった。「生徒に応じた進路指導が充実」という評価も、保護者評価 23%増、生徒評価 12%増、教員評価 7%増となっている。</p> <p>【学校経営】</p> <p>本校は、奔放な教員がいて同僚意識の未熟さが課題であったが、本年、「教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係がある」が 18%増え、40%に達した。まだまだ低い値であるが、改善してきている。</p> <p>・ICT活用も 11%増加したが、まだ 59%と低い。「校内研修は教育実践に役立つ内容になっている」は 9%増の伸びであるが 50%に留まり、来年度は更に、内容の検討が必要である。</p>	<p>第 1 回学校協議会（6 月 26 日）</p> <p>○入試方法が変わることにより、本校の受験生の動向はどのように変わるか。堺市での学校説明会の実施はよいことである。</p> <p>○自転車の交通違反規制が強化されたが、本校の生徒の状況はどうか。安全運転の指導と生徒の自転車保険の加入を推進してもらいたい。</p> <p>○遅刻が減っているとのことで、更に、遅刻指導の推進をしてもらいたい。</p> <p>第 2 回（11 月 10 日）</p> <p>○クラブ活動の様々な成果が発表されたが、生徒たちの高校生活では重要な点なので、十分に応援してもらいたい。</p> <p>○アルバイトは家の経済的な事情もあると思うが、できるだけ控えてクラブ活動や勉学に打ち込めるように指導してもらいたい。</p> <p>第 3 回（1 月 29 日）</p> <p>○地域の防災訓練が開かれるので、学校もそれに対応してもらいたい。また、災害時の生徒たちの避難経路・場所等、しっかりと周知してもらいたい。</p> <p>○進路保証として講習等を実施しているのはいい。できるだけ予備校等に通わなくてもいいようにサポートしてもらいたい。</p> <p>○入試制度の変更やアドミッション・ポリシーのような新しい取り組みで、受験生も迷っていると思うが、魅力ある学校として、多くの受験生を獲得してもらいたい。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1. 生徒の学力を高め 進路を保障	1. (1)「学習における自律精神の育成」 (2)「生徒参加型の国際交流」 (3)「授業・コース制度の充実」	1. (1)人権学習の推進、適切な宿題を継続的に指示、家庭での勉強方法指導など (2)国際交流において、各生徒レベルでの交流の充実、受入を新入生の保護者へアピール、交流派遣生の増加、インターネットを通じた交流の検討、卒業生の交流 (3)進路に応じた適切なコース編成、1年次・2年次のコース選択オリエンテーションの充実、受験タイプとコース目標の説明、スタディサポートの活用、成績結果分析データの蓄積	(1)生徒向け自己診断「家庭学習時間1時間以上」:H26年43%を50%に (2)交流国際交流でのPTA・卒業生・地域の方の参加機会とホームステイ引き受け家庭の増加 3か所の姉妹校との交流人数の増加 (3)卒業生の進路保障、親切な受験指導の徹底、国公立に現役3名、関関同立に40名	(1)学習時間は45%に留まった。各種の調査で結果に差があったが、ある調査では「気分で学習する」の割合が35%あり、まだ家庭学習が定着しているとは言えない。(△) (2)国際交流は、派遣生徒数が増加し、同窓生も参加でき、来年度は、ドイツとの交流も始まる(○) (3)受験講習会は昨年以上に充実し、参加者も増加した。生徒評価では、「志望達成に必要な学力がつく」が11%アップし62%となった。(○)
2. 生徒の活力を高め 充実した学校生活	2. (1)生徒会活動、部活動の活性化 (2)体験活動の重視	2. (1)生徒会との連絡会の実施、部活動加入の推進、文化祭以外での文化部発表機会の増加 (2)体験活動の充実、教育相談の充実 (3)授業にグループ学習を導入、教員のカウンセリングマインドを養成、授業への遅刻を徹底指導	(1)生徒向け自己診断「生徒会活動が活発」H26:41%を50%に、「部活動参加率」H26:65%を70%に (2)体験活動や授業ごとにアンケートで達成度を調査「よかった」H27年度70%以上に	(1)生徒会が行事で活躍し、広報活動も始めたため、「生徒会活動が活発」が62%となり、部活加入率も70%となった。(○) (2)体験活動は、本年、内容も変わったが、「よかった」が83%に達した。(○)
3. 教員の指導力を高め 良き教育環境作り	3. (1)教員の生徒一人ひとりへの対応力の育成 (2)教職員が相互理解を深め信頼関係を構築	3. (1)拡大学年会議の実施、生徒面談週間の継続、スクールカウンセラーの活用 (2)研修の充実、教員間の授業見学の実施、運営委員会の充実	(1)教職員向け自己診断: 「問題行動に組織的対応できる体制」:H26年は30%を40%に、 「きめ細かい進路指導を実施」:H26年は38%を45%に (2)教職員向け自己診断: 「積極的な教科目標・指導内容の点検機会」H26年は57%を65%に 「教職員間の相互理解と信頼関係で教育活動」: H26年は22%を40%に	(1)教員評価で、「問題行動に組織的に対応できる体制」が57%となり、「きめ細かい進路指導の実施」は、79%となった。(○) (2)教員評価で、「積極的な教科目標・指導内容の点検機会」7%増加して64%となり、「教職員間の相互理解と信頼関係で教育活動」は18%増加して、目標通り40%となった。全体的に、教職員が学年ごとによくまとまって活動できるようになった。(○)
4. 保護者・地域力を高め 連携の活性化	4. (1)保護者・地域との連携を深める (2)学校情報の更なる発信	4. (1)図書館の地域開放を考える、図書ボランティアの導入を推進する、地域連携の行事に参加する (2)学校のウェブサイトの充実、メルマガの発行、学校説明会の充実と内容の改善	(1)地域住民や保護者を対象とした講座の開設、講座数と参加者の増加を図る (2)学校や部活の活動報告を学校ホームページに逐一掲載、新デザインの学校案内を印刷し中学校・塾や学校説明会で配布、学校グッズを作る (3)地域の学校との連携を図る	(1)地域住民及び保護者を対象として、韓国語講座を開設し、文化祭等には、交流施設の方々と地域住民に参加してもらった。(○) (2)学校紹介ビデオや配布品を改善し、昨年以上の説明会に参加した。また、本校での説明会参加人数は合計で400名ほど増加した。また、志願者数も事前アンケートではかなり増加している。(○) (3)地域の中学校と合同でイングリッシュ・キャンプを実施。また、近隣にある国際交流センターには、夏休み中、日本語ボランティアとして生徒が50名程度参加した。(○)